

上場会社名 日本ハム株式会社  
コード番号 2282 URL <http://www.nipponham.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 畑 佳秀  
問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 長谷川 佳孝

TEL 06-7525-3042

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け説明会)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		事業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	279,305	8.4	9,230	16.7	13,035	5.6	9,063	3.5	9,384	8.5	12,515	93.5
2020年3月期第1四半期	304,760	0.1	11,074	7.6	12,344	19.2	8,753	20.8	8,651	22.1	6,468	43.8

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	91.18	91.15
2020年3月期第1四半期	84.06	84.03

(注)事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	769,247	419,830	407,922	53.0
2020年3月期	768,861	416,597	404,414	52.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				90.00	90.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				91.00	91.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		事業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	580,000	5.9	16,000	26.7	17,000	13.6	12,500	21.0	121.45
通期	1,200,000	2.4	37,000	15.5	30,000	11.0	22,000	14.5	213.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注)最近の業績動向を踏まえ、2021年3月期の第2四半期累計期間及び通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日2020年7月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	102,958,904 株	2020年3月期	102,958,904 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2021年3月期1Q	37,191 株	2020年3月期	39,542 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	102,919,883 株	2020年3月期1Q	102,912,494 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、さまざまな要因によってこれら予想や計画とは大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控え下さい。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信[添付資料]4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(6) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(7) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
1. セグメント情報 .....	10
2. 会計方針の変更 .....	10
3. 追加情報 .....	11
補足資料.....	補1～補4

※ 当社は、2020年7月31日（金）に機関投資家・アナリスト向け電話会議を開催する予定です。この会議で使用する資料については本日T D n e t で開示するほか、当社ホームページにも掲載いたします。

※ 上記説明会のほかにも、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催いたします。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### 業績全般の状況

当第1四半期のおが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況下となり、緊急事態宣言の解除後も、国内の感染者数が増加傾向にあるなど依然として予断を許さない状況が続いています。

当業界におきましては、4月の緊急事態宣言発令以降、内食需要の高まりと買い置き特需により、コンシューマ商品が伸長した一方で、外食需要の低迷により業務用商品が苦戦するという異例の事態となりました。

このような中、当社グループは、2018年4月からスタートした「中期経営計画2020」において、「未来につなげる仕組み作り」をテーマとし、5つの経営方針「既存事業の効率化による収益力の強化」「消費者との対話を通じた価値の創造」「食の未来の構想/実現のための技術力強化・育成」「海外市場展開のギア・チェンジ」「持続可能性（サステナビリティ）の追求」に基づく事業展開を推進してまいりました。具体的施策としては、国内においては、従来通りの事業強化・拡大施策に加えて、危機対策本部によるグループ従業員の安全確保や感染防止対策のもと、新型コロナウイルス感染症の影響による内食需要増加に対応した安定供給体制を維持するとともに、在宅勤務の推進やリモートワークのためのインフラ整備などに取り組みました。海外においては、新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑えるための対応策を講じるとともに、国内への安定供給に向けた調達先の確保に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、対前年同期比8.4%減の279,305百万円となりました。事業利益は対前年同期比16.7%減の9,230百万円、税引前四半期利益は対前年同期比5.6%増の13,035百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は対前年同期比8.5%増の9,384百万円となりました。

#### セグメントの概況

当社は、2020年4月1日付で「関連企業本部」を「乳製品・水産事業部」に名称変更し、加工事業本部に統合しました。

##### (加工事業本部)

ハム・ソーセージ部門においては、コンシューマ商品では、新型コロナウイルス感染症の影響による内食需要の増加や、再発売した「シャウエッセン焙煎ホットチリ」の上乗せもあり、主力の「シャウエッセン」が好調に推移し売上は前年を上回りました。業務用商品では、大手外食チャンネル向けの売上が減少しましたが、ハム・ソーセージ部門全体の売上は前年を上回りました。

加工食品部門においては、コンシューマ商品では、新型コロナウイルス感染症の影響による内食需要の増加により、主力のピザ群やワンクック群、常温商品群などの売上が前年を上回りました。業務用商品では、ラーメン店向けのエキス加工品や居酒屋チェーンを含む外食チャンネル向けの売上が減少したことにより、加工食品部門全体の売上は前年を下回りました。

乳製品部門においては、ヨーグルト・乳酸菌飲料では、主力の「バニラヨーグルト」が好調に推移したことに加え、新カテゴリー商品として発売した「イーセイスキル」の上乗せもあり、売上は前年を上回りました。チーズでは、ベビーチーズを中心にコンシューマ商品の売上は伸長しましたが、主力の製パンルートや外食チャンネル向けの売上が落ち込んだことにより、売上は前年を下回りました。

水産部門においては、寿司種やダイスサーモンの拡販に努めましたが、主力の寿司店を含む外食チャンネル向けの売上が苦戦したことにより、売上は前年を下回りました。

利益につきましては、主力ブランド商品の伸長に伴う売上単価上昇で粗利益率が改善したことに加え、広告宣伝費の見直しや、製造部門における機械化、省人化の取組みなどにより、増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の加工事業本部の売上高は対前年同期比3.2%減の122,461百万円、事業利益は対前年同期比15.2%増の2,739百万円となりました。

##### (食肉事業本部)

食肉事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響による内食需要が高まる中、SNSを活用した情報発信や、店頭における非接触型の顧客コミュニケーション強化を中心に取り組むとともに、ブランド食肉

に対する栄養成分量を表示したシールなどの販促物の活用や、国産鶏肉「桜姫」のクローズドキャンペーン実施によって継続的な購買を促進したりするなど、顧客との接点を維持する活動に努めました。

その結果、量販店向けの国産鶏肉・国産豚肉などの販売数量は伸長したものの、輸入食肉を中心とした外食・卸売向け需要が新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことなどにより、売上は前年を下回りました。

利益につきましては、生産部門では、養鶏事業の新農場稼働による出荷数量増加や飼育成績向上に加え、国産鶏肉・国産豚肉の相場上昇の影響もあり、増益となりました。販売部門では、新型コロナウイルス感染症の影響により海外調達が不安定となる中、幅広い原産国からの安定した商品調達と販売提案に努めましたが、外食や観光地の営業自粛などにより輸入食肉を中心に販売数量が減少した結果、減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の食肉事業本部の売上高は対前年同期比4.7%減の179,941百万円、事業利益は対前年同期比13.1%増の8,496百万円となりました。

#### (海外事業本部)

売上高につきましては、アジア・欧州事業では、タイでの販売数量減少が続いたことや、中国、ベトナムでの新型コロナウイルス感染症の影響による外食産業の落ち込みが長期化したことにより、前年を下回りました。米州事業では、米国での豚肉輸出数量や量販店への加工食品の販売数量の増加に加えて、チリでの豚肉輸出数量の増加により、前年を上回りました。豪州事業では、オーストラリアでの牛集荷頭数の減少や中国向け販売の減少に加えて、ウルグアイでの中国向け販売の数量減少により、前年を下回りました。

利益につきましては、アジア・欧州事業では、タイでの製造数量減少や、トルコでの販売単価が低下したことなどから前年を下回りました。米州事業では、米国での加工食品の販売数量増に加え、生産性の改善が定着したことや、チリでの水産物販売の収益が改善したことなどにより、前年を上回りました。豪州事業では、オーストラリアでの集荷環境の悪化による牛集荷価格の高値や集荷頭数の減少、中国を中心とした販売価格も低下したことに加えて、ウルグアイでも牛集荷価格が下がらず、中国向け輸出の販売単価が低下したことにより、前年を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の海外事業本部の売上高は対前年同期比13.8%減の55,827百万円、事業利益については、107百万円の事業損失（前年同期は786百万円の事業利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 《財政状態》

当第1四半期末の総資産は、前期末に比べ現金及び現金同等物が10,103百万円、営業債権及びその他の債権が7,174百万円それぞれ減少しましたが、棚卸資産が11,167百万円、その他の金融資産が2,972百万円それぞれ増加したことなどにより、前期末並みの769,247百万円となりました。負債については、前期末に比べその他の流動負債が3,883百万円増加しましたが、有利子負債が2,742百万円、その他の金融負債が2,927百万円それぞれ減少したことなどにより、前期末比0.8%減の349,417百万円となりました。なお、有利子負債は173,751百万円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は前期末に比べ3,508百万円増加の407,922百万円となり、親会社所有者帰属持分比率は0.4ポイント増の53.0%となりました。

### 《キャッシュ・フロー》

営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の増加10,719百万円、法人所得税の支払額3,583百万円などがありましたが、税引前利益13,035百万円、減価償却費及び償却費8,433百万円、営業債権及びその他の債権の減少7,466百万円などにより、18,053百万円の純キャッシュ増となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産等の取得13,528百万円などにより、13,712百万円の純キャッシュ減となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入債務による調達9,271百万円などがありましたが、現金配当9,268百万円、借入債務の返済8,453百万円、短期借入金の減少6,179百万円などにより、14,628百万円の純キャッシュ減となりました。

これらの結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物残高は、前期末に比べ10,103百万円減少し、

62,296百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2021年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日2020年7月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 将来に関する記述等についてのご注意

この決算短信に記載されている計画や業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは事業等のリスクを含む様々な要因によって、この決算短信に記載されている計画や予想と大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えください。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	72,399	62,296
営業債権及びその他の債権	130,213	123,039
棚卸資産	114,520	125,687
生物資産	21,335	22,040
その他の金融資産	11,701	11,771
その他の流動資産	5,583	7,092
流動資産合計	355,751	351,925
非流動資産		
有形固定資産	284,060	288,111
使用権資産	35,545	34,521
生物資産	1,883	1,859
無形資産及びのれん	8,953	8,785
持分法で会計処理されている投資	13,910	14,261
その他の金融資産	32,647	35,549
繰延税金資産	29,745	27,932
その他の非流動資産	6,367	6,304
非流動資産合計	413,110	417,322
資産合計	768,861	769,247
(負債及び資本の部)		
流動負債		
有利子負債	55,924	54,508
営業債務及びその他の債務	99,802	100,151
未払法人所得税	3,178	1,433
その他の金融負債	18,877	15,959
その他の流動負債	35,966	39,849
流動負債合計	213,747	211,900
非流動負債		
有利子負債	120,569	119,243
退職給付に係る負債	14,920	15,188
その他の金融負債	719	710
繰延税金負債	732	773
その他の非流動負債	1,577	1,603
非流動負債合計	138,517	137,517
負債合計	352,264	349,417
資本		
資本金	36,294	36,294
資本剰余金	72,639	72,630
利益剰余金	294,018	294,146
自己株式	△ 173	△ 162
その他の包括利益累計額	1,636	5,014
親会社の所有者に帰属する持分	404,414	407,922
非支配持分	12,183	11,908
資本合計	416,597	419,830
負債及び資本合計	768,861	769,247

(注) その他の包括利益累計額の内訳  
 その他の包括利益を通じて  
 公正価値で測定する金融資産  
 在外営業活動体の換算差額

前連結会計年度

当第1四半期連結会計期間

7,178

9,097

△ 5,542

△ 4,083

## (2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (2019年4月1日 ～2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (2020年4月1日 ～2020年6月30日)
売上高	304,760	279,305
売上原価	251,384	229,069
販売費及び一般管理費	40,836	38,797
その他の収益	1,571	1,622
その他の費用	1,566	553
金融収益	500	818
金融費用	767	407
持分法による投資利益	66	116
税引前四半期利益	12,344	13,035
法人所得税費用	3,591	3,972
四半期利益	8,753	9,063
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	8,651	9,384
非支配持分	102	△ 321
四半期利益	8,753	9,063
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	84.06円	91.18円
希薄化後1株当たり四半期利益	84.03円	91.15円



## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (2019年4月1日 ～2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (2020年4月1日 ～2020年6月30日)
四半期利益	8,753	9,063
その他の包括利益(△損失)		
純損益に振り替えられる ことのない項目 その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	△ 478	1,926
合計	△ 478	1,926
純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△ 1,698	1,290
持分法適用会社におけるその 他の包括利益に対する持分	△ 109	236
合計	△ 1,807	1,526
その他の包括利益(△損失)合計	△ 2,285	3,452
四半期包括利益	6,468	12,515
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	6,488	12,769
非支配持分	△ 20	△ 254
四半期包括利益	6,468	12,515

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(2019年4月1日~2019年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額				合計		
					確定給付 制度の 再測定	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	在外営業 活動体の 換算差額	合計			
2019年4月1日残高	36,294	72,672	286,934	△ 202	—	6,980	△ 1,664	5,316	401,014	4,344	405,358
四半期利益			8,651					—	8,651	102	8,753
その他の包括損失						△ 476	△ 1,687	△ 2,163	△ 2,163	△ 122	△ 2,285
四半期包括利益	—	—	8,651	—	—	△ 476	△ 1,687	△ 2,163	6,488	△ 20	6,468
配当			△ 9,262					—	△ 9,262	△ 9	△ 9,271
自己株式の取得				△ 1				—	△ 1	—	△ 1
自己株式の処分				0				—	0	—	0
子会社の増資								—	—	186	186
その他の包括利益累計額 から利益剰余金への振替								—	—	—	—
所有者との 取引額等合計	—	—	△ 9,262	△ 1	—	—	—	—	△ 9,263	177	△ 9,086
2019年6月30日残高	36,294	72,672	286,323	△ 203	—	6,504	△ 3,351	3,153	398,239	4,501	402,740

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日~2020年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額				合計		
					確定給付 制度の 再測定	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	在外営業 活動体の 換算差額	合計			
2020年4月1日残高	36,294	72,639	294,018	△ 173	—	7,178	△ 5,542	1,636	404,414	12,183	416,597
四半期利益			9,384					—	9,384	△ 321	9,063
その他の包括利益						1,926	1,459	3,385	3,385	67	3,452
四半期包括利益	—	—	9,384	—	—	1,926	1,459	3,385	12,769	△ 254	12,515
配当			△ 9,263					—	△ 9,263	△ 6	△ 9,269
自己株式の取得				△ 1				—	△ 1	—	△ 1
自己株式の処分		△ 10		12				—	2	—	2
子会社の設立								—	—	2	2
その他		1						—	1	△ 17	△ 16
その他の包括利益累計額 から利益剰余金への振替			7			△ 7		△ 7	—	—	—
所有者との 取引額等合計	—	△ 9	△ 9,256	11	—	△ 7	—	△ 7	△ 9,261	△ 21	△ 9,282
2020年6月30日残高	36,294	72,630	294,146	△ 162	—	9,097	△ 4,083	5,014	407,922	11,908	419,830

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (2019年4月1日 ～2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (2020年4月1日 ～2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	12,344	13,035
減価償却費及び償却費	8,111	8,433
減損損失	78	141
生物資産の公正価値変動額	△ 1,322	△ 1,368
金融収益及び金融費用	266	△ 411
営業債権及びその他の債権の増減	1,353	7,466
棚卸資産の増減	△ 13,551	△ 10,719
生物資産の増減	308	1,264
その他の資産の増減	173	△ 586
営業債務及びその他の債務の増減	8,030	175
その他の負債の増減	6,787	3,796
その他—純額	△ 1,752	△ 130
利息の受取額	148	76
配当金の受取額	398	709
利息の支払額	△ 409	△ 245
法人所得税の支払額	△ 2,989	△ 3,583
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,973	18,053
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産等の取得	△ 9,639	△ 13,528
固定資産等の売却	12	3
定期預金の増減	5	△ 33
その他の金融資産の取得	△ 23	△ 123
その他の金融資産の売却及び償還	3	13
関連会社に対する投資	△ 120	—
その他—純額	△ 17	△ 44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,779	△ 13,712
財務活動によるキャッシュ・フロー		
現金配当	△ 9,271	△ 9,268
短期借入金金の増減	7,533	△ 6,179
借入債務による調達	1,755	9,271
借入債務の返済	△ 5,519	△ 8,453
非支配持分からの出資	186	—
自己株式の取得	△ 1	△ 1
その他—純額	—	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,317	△ 14,628
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 527	184
現金及び現金同等物の増減額	2,350	△ 10,103
期首現金及び現金同等物残高	48,108	72,399
期末現金及び現金同等物残高	50,458	62,296

**(6) 継続企業の前提に関する注記**

該当事項はありません。

**(7) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項****1. セグメント情報**

報告セグメントに関する情報

当社グループは、主として商品及び提供するサービスの性質に加えて販売又はサービスを提供する地域に応じて以下の3つの事業セグメントに区分し、経営管理を行っており、これを報告セグメントとしております。

当社は、2020年4月1日付で、関連企業本部を乳製品・水産事業部と名称変更し、加工事業本部の管轄としております。これに伴い、当第1四半期連結累計期間より、オペレーティング・セグメントを従来の4つの事業グループから以下の3つの事業グループに変更しています。また、食肉事業本部の管轄であった食肉加工品・エキス製造販売会社を加工事業本部に移管しております。

加工事業本部 — 主に国内におけるハム・ソーセージ、加工食品、水産物、乳製品の製造・販売

食肉事業本部 — 主に国内における食肉の生産・販売

海外事業本部 — 主に海外子会社におけるハム・ソーセージ、加工食品、食肉及び水産物の生産・製造・販売

なお、当社グループは当社及び子会社83社、関連会社9社で構成されています。

前第1四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年6月30日）

（単位：百万円）

	加工事業 本部	食肉事業 本部	海外事業 本部	計	消去 調整他	連結
売上高						
外部顧客に対する売上高	120,194	157,505	33,116	310,815	△ 6,055	304,760
セグメント間の内部売上高	6,339	31,400	31,676	69,415	△ 69,415	-
計	126,533	188,905	64,792	380,230	△ 75,470	304,760
セグメント利益	2,377	7,515	786	10,678	396	11,074

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日）

（単位：百万円）

	加工事業 本部	食肉事業 本部	海外事業 本部	計	消去 調整他	連結
売上高						
外部顧客に対する売上高	116,464	148,035	26,244	290,743	△ 11,438	279,305
セグメント間の内部売上高	5,997	31,906	29,583	67,486	△ 67,486	-
計	122,461	179,941	55,827	358,229	△ 78,924	279,305
セグメント利益(△損失)	2,739	8,496	△ 107	11,128	△ 1,898	9,230

- (注) 1. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去などが含まれております。  
 2. 全社費用及び特定の子会社の純損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告セグメントに配賦しております。これらの子会社は、各報告セグメントに含まれる当社グループのために間接的なサービス及び業務支援を行っております。  
 3. 「セグメント利益(△損失)」は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。  
 4. 前第1四半期連結累計期間について、当第1四半期連結累計期間のオペレーティング・セグメント情報に基づき、組替えを行っております。

**2. 会計方針の変更**

該当事項はありません。

### 3. 追加情報

新型コロナウイルス感染症の影響については、当該感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はなく、当第1四半期連結累計期間の影響は軽微と判断しております。ただし、今後の状況変化によっては、翌四半期連結会計期間以降の財政状態、経営成績に重要な影響を与える可能性があります。

2021年3月期第1四半期

補 足 資 料

日 本 ハ ム 株 式 会 社

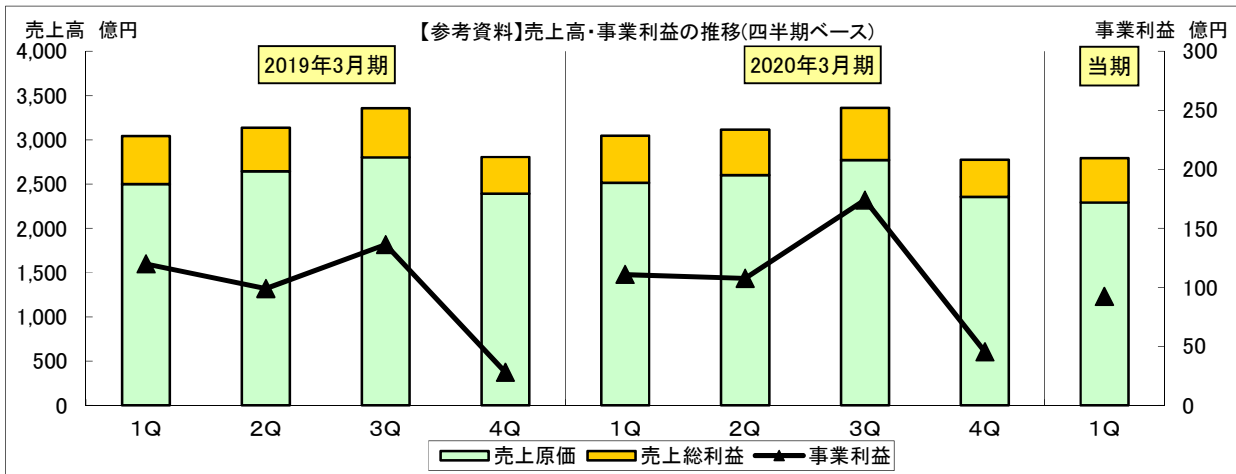
2020年7月

I ハイライト情報

《連結決算》

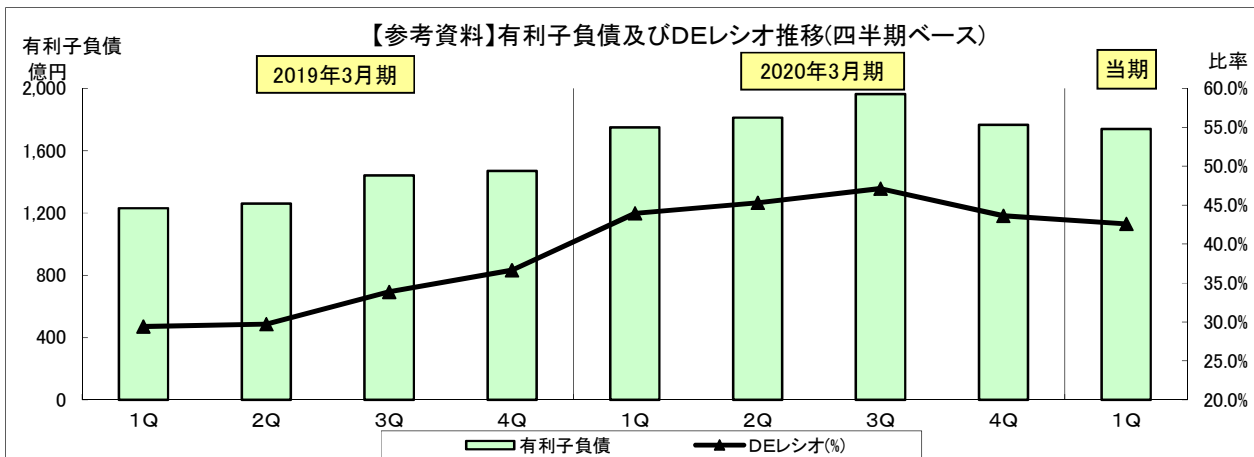
(単位：百万円)

	2019年3月期 第1四半期 (実績)	2020年3月期 第1四半期 (実績)	2021年3月期 第1四半期 (実績)	対前年同期 増減率	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 第2四半期 連結累計期間 (計画)	2021年3月期 (計画)
売上高	304,378	304,760	279,305	△ 8.4%	1,229,826	580,000	1,200,000
売上総利益	54,349	53,376	50,236	△ 5.9%	205,530		
事業利益	11,981	11,074	9,230	△ 16.7%	43,772	16,000	37,000
税引前四半期(当期)利益	15,268	12,344	13,035	5.6%	27,039	17,000	30,000
親会社所有者帰属持分 四半期(当期)利益	11,105	8,651	9,384	8.5%	19,214	12,500	22,000
売上高総利益率	17.9%	17.5%	18.0%		16.7%		
売上高事業利益率	3.9%	3.6%	3.3%		3.6%	2.8%	3.1%
親会社所有者帰属持分当期 (四半期)利益率(ROE)	2.7%	2.2%	2.3%		4.8%		5.4%



(単位：百万円)

	2019年3月期第1 四半期(実績)	2020年3月期第1 四半期(実績)	2021年3月期第1 四半期(実績)	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (計画)
総資産	750,069	774,946	769,247	768,861	
親会社所有者帰属持分	418,327	398,239	407,922	404,414	
有利子負債	123,015	175,061	173,751	176,493	
D / E レシオ	0.29	0.44	0.43	0.44	
設備投資額	9,355	5,827	10,547	47,802	104,400
減価償却費	5,322	8,032	8,388	33,038	34,400



## II セグメント情報

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (2019年4月1日～2019年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (2020年4月1日～2020年6月30日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
加工事業本部						
外部顧客に対する売上高	120,194	95.0%	116,464	95.1%	△ 3,730	△ 3.1%
セグメント間の内部売上高	6,339	5.0%	5,997	4.9%	△ 342	△ 5.4%
売上高合計	126,533	100.0%	122,461	100.0%	△ 4,072	△ 3.2%
セグメント利益	2,377	1.9%	2,739	2.2%	362	15.2%
食肉事業本部						
外部顧客に対する売上高	157,505	83.4%	148,035	82.3%	△ 9,470	△ 6.0%
セグメント間の内部売上高	31,400	16.6%	31,906	17.7%	506	1.6%
売上高合計	188,905	100.0%	179,941	100.0%	△ 8,964	△ 4.7%
セグメント利益	7,515	4.0%	8,496	4.7%	981	13.1%
海外事業本部						
外部顧客に対する売上高	33,116	51.1%	26,244	47.0%	△ 6,872	△ 20.8%
セグメント間の内部売上高	31,676	48.9%	29,583	53.0%	△ 2,093	△ 6.6%
売上高合計	64,792	100.0%	55,827	100.0%	△ 8,965	△ 13.8%
セグメント利益 (△損失)	786	1.2%	△ 107	△ 0.2%	△ 893	—
消去調整他						
売上高	△ 75,470		△ 78,924		△ 3,454	
セグメント利益	396		△ 1,898		△ 2,294	
連結						
売上高合計	304,760	100.0%	279,305	100.0%	△ 25,455	△ 8.4%
セグメント利益	11,074	3.6%	9,230	3.3%	△ 1,844	△ 16.7%

(注) セグメント利益 (△損失) は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。



## 【参考情報～海外事業本部の内訳】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (2019年4月1日～2019年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (2020年4月1日～2020年6月30日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
アジア・欧州						
外部顧客に対する売上高	6,917	34.6%	5,575	35.2%	△ 1,342	△ 19.4%
セグメント間の内部売上高	13,096	65.4%	10,251	64.8%	△ 2,845	△ 21.7%
売上高合計	20,013	100.0%	15,826	100.0%	△ 4,187	△ 20.9%
セグメント利益 (△損失)	668	3.3%	△ 189	△ 1.2%	△ 857	—
米州						
外部顧客に対する売上高	5,315	26.5%	4,863	23.0%	△ 452	△ 8.5%
セグメント間の内部売上高	14,741	73.5%	16,278	77.0%	1,537	10.4%
売上高合計	20,056	100.0%	21,141	100.0%	1,085	5.4%
セグメント利益	79	0.4%	742	3.5%	663	839.2%
豪州						
外部顧客に対する売上高	20,883	82.3%	15,806	81.7%	△ 5,077	△ 24.3%
セグメント間の内部売上高	4,502	17.7%	3,551	18.3%	△ 951	△ 21.1%
売上高合計	25,385	100.0%	19,357	100.0%	△ 6,028	△ 23.7%
セグメント利益 (△損失)	356	1.4%	△ 413	△ 2.1%	△ 769	—

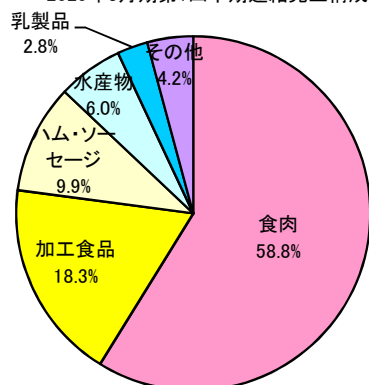
(注) セグメント間取引の消去があるため、オペレーティング・セグメント情報の「海外事業本部」とは一致しません。

## Ⅲ 連結売上内訳

(単位：百万円)

	2020年3月期 第1四半期 (実績)		2021年3月期 第1四半期 (実績)		対前年同期 増減率	2020年3月期 (実績)		2021年3月期 (計画)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比
ハム・ソーセージ	30,332	9.9%	31,704	11.3%	4.5%	130,982	10.6%	133,100	11.1%
加工食品	55,713	18.3%	53,045	19.0%	△ 4.8%	228,833	18.6%	223,700	18.6%
食肉	179,247	58.8%	162,267	58.1%	△ 9.5%	711,753	57.9%	689,500	57.5%
水産物	18,162	6.0%	15,842	5.7%	△ 12.8%	80,724	6.6%	78,400	6.5%
乳製品	8,506	2.8%	8,000	2.9%	△ 5.9%	33,614	2.7%	33,200	2.8%
その他	12,800	4.2%	8,447	3.0%	△ 34.0%	43,920	3.6%	42,100	3.5%
合計	304,760	100.0%	279,305	100.0%	△ 8.4%	1,229,826	100.0%	1,200,000	100.0%

2020年3月期第1四半期連結売上構成比



2021年3月期第1四半期連結売上構成比

